

—大学院音楽研究科（修士課程）の教育・研究目的—

音楽研究科修士課程は、個性を尊重し創造性を育む高度に専門的な音楽芸術の研究と教育を行い、音楽の専門的知識を生かして社会で幅広く活躍しうる優れた音楽家や研究者を育成することを目的とします。

◆アドミッション・ポリシー（入学受入れの方針）

音楽研究科修士課程は、次のような学生を求めています。

- 1 音楽芸術の専門的で高度な研究に必要な技術と知識、強い研究意欲を持つ学生
- 2 個性と芸術的創造力にあふれる学生

◆カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

音楽研究科修士課程は、学部で獲得した基礎力と応用力を踏まえ、学生が専門分野における高度な技術と知識を研究し、また音楽的感性を磨くとともに、次の力を身につけることを目指し、カリキュラムを編成し、実施します。

- 1 実演分野においては、自らの世界観を表すことのできる想像力と表現力
- 2 創作分野においては、自らの世界観を反映する音の構想力と第三者への伝達手法
- 3 学術研究分野においては、自ら研究上の問題を認識する思考力、またその問題解決へと向けた情報リテラシー能力

◆ディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与の方針）

音楽研究科修士課程は、修了時まで達成すべき目標を以下のとおりとします。

- 1 実演、創作、学術研究の各分野における、専門的音楽人として相応しい音楽的もしくは学術的に優れた想像力、表現力、構想力、思考力の獲得
- 2 他分野に対しても幅広い知見を有し、広く社会に向け、自らの創造的音楽観を問ひかけ、グローバルな視野をもって芸術文化の発展に寄与できる能力の修得

京都市立芸術大学大学院音楽研究科（修士課程） 学 生 募 集 要 項

1 募 集 人 員

（標準修業年限2年）

区 分	専 攻 分 野	専 攻 細 目	募集人員
一 般	作 曲 ・ 指 揮 専 攻	作 曲 指 揮	3名
	器 楽 専 攻	ピ ア ノ 弦 楽 打 楽	10名
	声 楽 専 攻	声 楽	5名
	音 楽 学 専 攻	音 楽 学	3名
	日 本 音 楽 研 究 専 攻	日 本 音 楽 研 究	3名
※ 本科留学生	作 曲 ・ 指 揮 専 攻 器 楽 専 攻 声 楽 専 攻 音 楽 学 専 攻 日 本 音 楽 研 究 専 攻	作 曲 ・ 指 揮 ピ ア ノ ・ 弦 楽 ・ 管 打 楽 声 楽 音 楽 学 日 本 音 楽 研 究	若干名

※本科留学生の出願資格は、原則として本学大学院音楽研究科研究留学生として6か月以上在籍する者とする。

2 出 願 資 格 注（1）～（9）のいずれかに該当する必要があります。

- （1）学校教育法第83条に規定する日本の大学を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者
- （2）学校教育法第104条第4項の規定（大学評価・学位授与機構）により学士の学位を授与された者及び平成30年3月までに学位取得見込みの者
- （3）外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
- （4）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
- （5）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
- （6）外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府または関係機関の認証を受けた者による評価を受けたものまたはこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成30年3月までに学位取得見込みの者
- （7）専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後

に修了した者及び平成30年3月修了見込みの者

(8) 文部科学大臣が指定した者（昭和28年文部省告示第5号）

(9) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成30年3月31日までに22歳に達する者

注 出願資格(1)～(8)に該当しない者で、出願資格(9)により出願を希望する者は、出願資格認定審査の手続を要するため、必ず事前に連携推進課入試担当に申し出て、その指示を受けたうえで、7月21日（金）までに必要書類等を提出してください。

3 出 願 手 続

(1) 受付期間 平成29年（2017年）9月1日（金）から9月8日（金）まで

9月8日（金）までの消印を有効とします。

(2) 願書提出方法（郵送のみ）

出願書類は「速達・簡易書留」で連携推進課入試担当宛に送付してください。なお、出願書類の封筒には必ず「入学願書在中（音楽研究科修士課程）」と朱書きしてください。

送り先 〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町13-6

京都市立芸術大学連携推進課入試担当

TEL (075) 334-2238

10月9日（月）までに受験票が到着しない場合は、電話等により連携推進課入試担当まで問い合わせてください。

(3) 入学考査料 17,000円

ア 本要項にとじ込みの「郵便振替払込用紙」により、郵便局窓口（ATMからの払い込みは不可）で払い込んでください。（要手数料）

イ 願書提出後、考査料は一切返還しません。

(4) 身体に障害を有する入学志願者との事前相談について

本学に入学を志願する者で、身体に障害（視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・その他）がある方は、受験上及び修学上配慮を必要とすることがありますので、出願の前にあらかじめ本学に申し出てください。

また、申し出に基づき、相談が必要となった場合は以下のとおりとします。

ア 申し出期限 平成29年（2017年）7月21日（金）まで

イ 相談の方法

下記事項（ア）から（オ）を記載した申請書（様式は問いません。）に医師の診断書を添えて提出することとし、必要な場合は、本学において、志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面接等を行います。（期限後に、受験上及び修学上配慮が必要になった志願者は、速やかに連絡してください。）

（ア）志望専攻 （イ）障害の種類・程度 （ウ）受験上の配慮を希望する事項

（エ）修学上の配慮を希望する事項 （オ）その他参考となる事項

4 出 願 書 類

(1) 入学願書

用紙は本要項にとじ込み

記入する氏名は戸籍名と同一のこと。住民票が作成される外国籍の方は住民票の写しに記載されている氏名と同一のこと。

(2) 成績証明書

出身大学長又は学部長が作成したものを提出してください。

(本学卒業者又は見込者は提出の必要はありません。)

(3) 卒業証明書又は卒業見込証明書

(本学卒業者又は見込者は提出の必要はありません。)

出願資格 (2) により出願する者は、卒業証明書に代えて学位授与証明書、又は卒業見込証明書に代えて下記の①②の書類を提出してください。

①志願者が在籍する短期大学の専攻科又は高等専門学校専攻科の修了見込証明書

②志願者が学士の学位の授与を申請する予定である旨の志願者が在籍する短期大学長又は高等専門学校長の証明書

(4) 写真 2 枚

出願前 3 カ月以内に撮影した上半身・無帽・正面向きのもの (4 cm×3 cm) を受験者写真票及び受験票 (用紙は本要項にとじ込み) に貼付してください。

(5) 受験票返送用封筒

本要項にとじ込みの指定封筒に志願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、672円分の切手 (簡易書留・速達) を貼付してください。

(6) 郵便振替払込受付証明書

入学考査料の払込みと同時に郵便局から交付される「郵便振替払込受付証明書」を同封してください。

(7) パスポートの写し (外国人留学生のみ)

外国人留学生 (本学研究留学生を含む) は、パスポート (顔写真のあるページ) の写しを提出してください。

注 1 各種証明書等と現在の姓が異なる場合は、改姓の事実が確認できる証明書等 (戸籍抄本や運転免許証の写し等) を添付すること。

2 英語以外の外国語で記載された書類を提出する場合は、日本語訳を添付すること。出願者が訳したものでも構いません。

3 官公庁その他会社等に在職中又は現在他大学の大学院に在籍中の者は、出願前に勤務先又は在籍する大学院の学長の受験許可が必要な場合がありますので、勤務先又は在籍する大学院の規程等を十分に確認のうえ出願してください。

5 試験日程

月 日	科 目		開始時間（予定）
10月20日（金）	ガイダンス		13：00～
	共通試験	語学	13：15～
		音楽史	15：15～
10月21日（土）	ピアノ	実技	10：00～
	管・打楽	実技	10：00～
	音楽学	語学・小論文・口頭試問	10：00～
	日本音楽研究	語学・小論文・口頭試問	10：00～
10月22日（日）	作曲	和声法・小論文・口頭試問	9：30～
	指揮	実技・口頭試問	9：00～
	弦楽	実技	10：00～
	声楽	実技	10：00～

注1 演奏終了後に面接を行う場合があります。

- 2 受験順については、音楽研究科にて厳正に抽選し、受験票と一緒に郵送にてお知らせします。受験の詳細についても、受験順と併せてお知らせします。
- 3 共通科目については、30分以上遅刻した場合は受験資格を失います。専門科目については、原則遅刻は認めません。
- 4 試験科目のうち1科目でも受験しなかった場合は失格となり、以降の試験科目の受験資格を失います。
- 5 入学試験当日に受験できなかった場合、追試験等の特別措置及び入学考査料の返還は行いません。
- 6 学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻しん、水痘等）に罹患し治癒していない場合又は罹患した疑いがある場合は、他の受験生や監督者等への伝染の恐れがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、症状により医師が伝染の恐れがないと認めた場合は、この限りではありません。

6 試験科目

（1）共通科目

ア 語 学 英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、日本語（古典）の中から1科目を選択してください。ただし、日本語（古典）については、日本音楽研究専攻の志願者のみ選択することができます。（英和、和英、独和、和独、仏和、和仏、伊和、和伊、古語辞書持込可、電子辞書の持込可。ただし、通信機能の無いものに限る。外国人留学生（本学研究留学生を含む）は辞書について質問があれば、事前に連携推進課入試担当に問い合わせること。）（試験時間90分）

注 選択科目を入学願書に記入してください。

イ 音楽史 西洋音楽史 ただし、音楽学専攻、日本音楽研究専攻の志願者は、西洋音楽史に代えて、日本音楽史を選択することができます。（試験時間60分）（筆記用具以外持込不可）

〔参考〕過去3年間の共通科目並びに専門科目のうち作曲の小論文及び和声法、音楽学専攻及び日本音楽研究専攻の語学及び小論文の試験問題は、月曜日から金曜日（祝日を除く。）の午前9時から午後5時までの間に限り連携推進課入試担当で閲覧することができます。また、過去1年間の試験問題は、著作権法上の関係により掲載できないものを除いて、本学ホームページ（<http://www.kcua.ac.jp/>）でも掲載しています。

なお、電話・文書等による照会には一切応じません。

（2）専門科目

作曲・指揮専攻

【作 曲】

ア 作品提出：自作品（楽譜）を2曲以上提出してください。

平成29年10月17日（火）必着のこと。

提出作品の演奏CD・DVD等を添えて楽譜と共に提出しても構いません。

提出物は返却しません。作品はコピーを提出してください。

イ 小 論 文：当日与えられる課題により小論文を書いてください。（筆記用具以外持込不可）
（試験時間120分）

ウ 和 声 法：当日与えられた課題に和声を付け4声体とします。（試験時間120分）

（京都市立芸術大学音楽学部作曲専攻の卒業生又は卒業見込の者は免除します。）

エ 口頭試問

【指 揮】

ア 指揮実技

①W. A. Mozart：Symphony Nr 38 D-Dur K504 Praha（交響曲第38番ニ長調K504 プラハ 全楽章）

②A. Dvořák：Symphony Nr 7 d-Moll Op 70（交響曲第7番ニ短調作品70 全楽章）

③C. A. Debussy：Prélude à L'après-midi d'un faune（牧神の午後への前奏曲）

④A. Bruckner：Symphony Nr 5 B-Dur WAB105 2 Satz（交響曲第5番変ロ長調原典版より第2楽章） 使用楽譜は原典版であれば良い。

演奏箇所は当日試験会場で指示します。演奏は二台ピアノによって行われます。

イ 弾き歌い

W. A. Mozart：歌劇「魔笛」より第1幕 8曲目

タミーノと弁者の場面のレチタティーヴォをピアノを弾きながら歌唱して下さい。ドイツ語での歌唱とします。

ウ ①ピアノによる総譜視奏

L. v. Beethovenの全交響曲の中から任意の緩徐楽章を選び演奏して下さい。

②ピアノ演奏（自由曲）約10分以内

③ピアノなど鍵盤楽器以外の任意の楽器演奏（自由曲・無伴奏）

ただし、打楽器の場合はスネアドラムとする。

エ 口頭試問

器楽専攻

【ピアノ】

45分程度の自由選択による独奏曲のプログラムを用意してください。(エディションは自由)
ただし、D. Scarlatti のソナタ ニ短調 K. 10/L. 370と、高度な演奏技術を要する練習曲1曲と、
J. Haydn 又は W. A. Mozart 又は L. v. Beethoven のソナタ1曲（全楽章）を含むものとします。

ピアノ注意事項

- ・暗譜演奏のこと。
- ・反復はしないこと。
- ・時間の都合により曲目の一部を省略させることがあります。
- ・曲目の演奏順は指定される場合があります。

◎演奏曲目届出用紙〔器楽専攻用〕に必ず自分の選択した曲目と時間を書いてください。

【弦 楽】

弦楽共通注意事項

- ・暗譜演奏のこと。
- ・反復はしないこと。
- ・時間の都合により曲目の一部を省略させることがあります。
- ・伴奏者は同伴のこと。伴奏者の氏名を願書に記入すること。

(10月22日(日))は弦楽専攻と声楽専攻の各専門科目の試験が同時に行われるので、
伴奏者の依頼にあたっては十分注意すること。また、試験当日に伴奏者との練習が
必要な場合、複数の受験生が1人の伴奏者に伴奏を依頼すると、伴奏付きでの練習
時間が十分に確保できない場合があるので、注意すること。)

◎演奏曲目届出用紙〔器楽専攻用〕に必要事項を記入してください。

ヴァイオリン

ア 下記の中、いずれか1曲を選択し演奏してください。

- ① J. S. Bach : Sonata for solo violin 第1番 ト短調 BWV 1001より第1, 2楽章
- ② J. S. Bach : Sonata for solo violin 第2番 イ短調 BWV 1003より第1, 2楽章
- ③ J. S. Bach : Sonata for solo violin 第3番 ハ長調 BWV 1005より第1, 2楽章
- ④ J. S. Bach : Partita for solo violin 第2番 ニ短調 BWV 1004よりCiaccona

イ Beethoven以降からロマン派・近現代におけるスタンダードな協奏曲の第1楽章を
演奏して下さい(カデンツァは任意のものとする)。

ヴィオラ

ア 下記の中、いずれか1曲を選択しPrélude, Sarabande, Gigueを演奏してください。
(エディションは自由)

- ① J. S. Bach : Suite for violoncello solo 第4番 変ホ長調 BWV 1010
- ② J. S. Bach : Suite for violoncello solo 第5番 ハ短調 BWV 1011
- ③ J. S. Bach : Suite for violoncello solo 第6番 ニ長調(ト長調) BWV 1012

イ 下記の中、いずれか1曲を選択し演奏してください。

- ① M. Reger : Suite for solo viola Op. 131d より第1番 ト短調
- ② M. Reger : Suite for solo viola Op. 131d より第2番 ニ長調
- ③ M. Reger : Suite for solo viola Op. 131d より第3番 ホ短調

チェロ

ア 下記の中、いずれか1曲を選択し Prélude , Sarabande , Gigue を演奏してください。
(エディションは自由)

- ① J. S. Bach : Suite for violoncello solo 第4番 変ホ長調 BWV 1010
- ② J. S. Bach : Suite for violoncello solo 第5番 ハ短調 BWV 1011
- ③ J. S. Bach : Suite for violoncello solo 第6番 ニ長調 BWV 1012

イ 下記の中より1つを選択し演奏してください。(エディションは自由)

- ① A. Dvořák : Concerto Op. 104 より第1楽章又は第3楽章
- ② E. Elgar : Concerto Op. 85 より第1, 2楽章
- ③ J. Haydn : Concerto 第2番 Hob. VIIb-2 より第1楽章
(カデンツァは任意のものとする。)
- ④ R. Schumann : Concerto Op. 129 より第1楽章
- ⑤ P. Tchaikovsky : ロココ風の主題による変奏曲Op. 33 より全曲
(主題はくり返すこと。)

コントラバス

下記の中、いずれか1曲を選択し演奏してください。

- ① S. Koussevitzky : Concerto Op. 3 (カデンツァ不要)
- ② J. B. Vanhal : Concerto ニ長調 (カデンツァはH. Gruber 版)
- ③ G. Bottesini : Concerto 第2番 ロ短調 (任意のカデンツァ)

楽器を持参できない場合は、本学で用意しますので、楽器を持参するか否かを演奏
曲目届出用紙〔器楽専攻用〕に記入してください。

【管・打楽】

管・打楽共通注意事項

- ・暗譜演奏のこと。
- ・反復はしないこと。
- ・時間の都合により曲の一部を省略させることがあります。
- ・伴奏者は同伴のこと。伴奏者の氏名を願書に記入すること。なお、試験当日に伴奏者との練習が必要な場合、複数の受験生が1人の伴奏者に依頼すると、伴奏付きでの練習時間が十分に確保できない場合があるので、注意すること。
- ・演奏終了後、面接を行います。

◎演奏曲目届出用紙〔器楽専攻用〕に必ず自分の選択した曲目と時間を書いてください。

フルート

ア W. A. Mozart : Concerto ト長調 KV 285c (旧KV 313)

イ 自由曲1曲

オーボエ

ア W. A. Mozart : Concerto ハ長調 KV 285d (旧KV 314)

イ 自由曲1曲

クラリネット

ア W. A. Mozart : Concerto イ長調 KV 622

イ 自由曲1曲

ファゴット

ア W. A. Mozart : Concerto 変ロ長調 KV 186e (旧KV 191)

イ 自由曲 1 曲

サクソフォン

ア J. Ibert : Concertino da camera pour saxophone alto et onze instruments

イ 自由曲 1 曲

ホルン

ア W. A. Mozart : Concerto 第 4 番 変ホ長調 KV 495

イ 自由曲 1 曲

トランペット

ア J. Haydn : Concerto 変ホ長調

イ 自由曲 1 曲

トロンボーン

ア F. David : Concertino 変ホ長調 Op. 4

イ 自由曲 1 曲

バス・トロンボーン

ア F. David : Concertino 変ロ長調

イ 自由曲 1 曲

チューバ

ア V. Williams : Concerto

イ 自由曲 1 曲

打楽器

ア J. S. Bach の作品の中から任意の 1 曲を鍵盤打楽器独奏のために編曲して演奏してください。(演奏曲目届出用紙〔器楽専攻用〕に使用する鍵盤打楽器名を明記してください。楽譜提出の必要はありません。)

イ 小太鼓又はティンパニーのための任意の独奏曲

ウ 自由曲 1 曲

(上記ア～ウに伴奏が必要な場合、ピアノによることとします。原則として本学の所有する楽器は当日貸与しますが、持参する楽器がある場合は、出願の際申し出て、搬入・搬出方法について本学と協議してください。)

声楽専攻

【声 楽】

下記の条件を満たした20分から22分までのプログラムを用意してください。

- ① 歌曲とアリア（オペラ及びオラトリオ、ただしオペラ・アリアは必ず含む。）で構成されていること。
- ② 異なった時代の 2 人以上の作曲家の作品で構成されていること。
- ③ 2 ヶ国語以上で構成されていること。
- ④ W. A. Mozartの作品を含んでいること。

声楽注意事項

・原語演奏のこと。

(ただし、原語以外でも歌われることが通例になっている曲はこの限りではない。)

- ・オペラ・アリアは、原調で演奏のこと。
(ただし、習慣として原調以外で歌われる曲はこの限りではない。)
- ・暗譜演奏のこと。
- ・有節歌曲及びアリアについての通例的な省略は自由とします。
- ・反復は自由とします。
- ・当日、演奏時間及び曲目の指定をすることがあります。
- ・伴奏者は同伴のこと。伴奏者の氏名を願書に記入すること。

(10月22日(日))は声楽専攻と弦楽専攻の各専門科目の試験が同時に行われるので、伴奏者の依頼にあたっては十分注意すること。また、試験当日に伴奏者との練習が必要な場合、複数の受験生が1人の伴奏者に伴奏を依頼すると、伴奏付きでの練習時間が十分に確保できない場合があるので、注意すること。)

◎演奏曲目届出用紙〔声楽専攻用〕に、演奏曲目(原題と邦題の両方を記入すること)(アリアの場合、オペラ、オラトリオの題名も記載すること)と各曲の正確な所要時間及び合計時間(何分何秒)を記入してください。

音楽学専攻

【音楽学】

ア 語学：① 次の専門分野を希望する者は英語を選択してください。

音楽心理学、音響心理学、音響環境論、ポピュラー音楽論、民族音楽学、音響人類学、現代音楽論、サウンドアート論。(英和、和英辞書持込可、電子辞書の持込可。ただし、通信機能の無いものに限ります。)(試験時間90分)

② 西洋音楽史を希望するものはドイツ語、フランス語のいずれかを選択してください。(ただし共通科目の語学において英語以外の語学を選んだ者は英語を選択してください。)(独和、和独、仏和、和仏辞書持込可、電子辞書の持込可。ただし、通信機能の無いものに限ります。)(試験時間90分)

イ 小論文：当日与えられる課題により日本語で小論文を書くこと。外国人留学生(本学研究留学生を含む)は、辞書を持込可(電子辞書は持込不可)。(試験時間90分)

ウ 口頭試問

日本音楽研究専攻

【日本音楽研究】

ア 語学

英語、日本語(古典)のいずれかを選択してください。(英和、和英、古語辞書持込可。電子辞書持込可。ただし、通信機能の無いものに限ります。外国人留学生(本学研究留学生を含む)は辞書について質問があれば、事前に連携推進課入試担当まで問い合わせること。)(試験時間90分)

イ 小論文

当日与えられる課題により日本語で小論文を書くこと。外国人留学生(本学研究留学生を含む)は、辞書を持込可(電子辞書は持込不可)。(試験時間90分)

ウ 口頭試問

7 試験場所

京都市立芸術大学(京都市西京区大枝杵掛町13-6)

注 試験場への略図、交通機関については、裏表紙を参照してください。

8 選抜方法

- (1) 作曲・指揮専攻，器楽専攻，声楽専攻は，実技の能力を重視すると共に，共通科目，面接及び成績証明書等を考慮して総合的に判定します。
- (2) 音楽学専攻，日本音楽研究専攻は，専門科目，共通科目，面接及び成績証明書等を考慮して総合的に判定します。

9 合格発表

10月25日（水）午前10時（予定）本学内に掲示し，合格者には文書で通知します。

なお，合格発表日の午前11時（予定）から約1週間，本学ホームページ（<http://www.kcua.ac.jp/>）で合格者の受験番号を掲載します（※注意）。ただし，本学掲示発表ならびに，合格通知の発送をもって正式なものとしします。

電話による問い合わせには一切応じません。

※注意 本学ホームページでの合格者の受験番号掲載は情報提供の一環として行うものであり，その安全性を保障するものではありません。

10 入学手続

合格者に対しては，平成30年2月中旬に，入学手続等について通知を行います。本学の入学手続に際し必要なものは次のとおりです。

(1) 入学料 市内出身者 282,000円

市外出身者 482,000円

注 「市内出身者」とは，入学前年の4月1日以前から引き続き京都市内に居住し，住民票の写しにより証明される者

(2) 誓約書

(3) 納付金

学生教育研究災害傷害保険料 1,750円（2年間分）

学研災付帯賠償責任保険料 680円（2年間分）

音楽教育後援会費（2年間分） 50,000円 ※留学生は払込不要

真声会（同窓会）入会金 15,000円 ※本学卒業生及び留学生は払込不要

〔参考〕授業料 年額 535,800円（前，後期に分割納入することができます。）

注 上記の入学料及び授業料は平成29年度入学者の場合であり，料金の改定があった場合は合格者に通知します。

11 試験の成績照会（不合格者のみ）

試験結果（不合格理由）の通知を希望する者は，封筒の表面に「不合格理由開示請求」と記載，裏面に受験番号，専攻，氏名を明記し，**本学受験票（原本）**及び返信用封筒（長形3号の封筒に宛先を記入，82円切手貼付）を同封のうえ，11月30日（木）までに連携推進課入試担当まで郵送又は持参により請求してください。なお，電話，Eメール等での問い合わせには応じません。回答内容は，合格基準を満たさなかった項目にチェック印（✓）を入れたものとなります（期限後の照会には応じません）。

12 個人情報の取り扱いについて

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（以下「個人情報保護法」という。）に基づき本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報の利用については、入学者選抜に係わる業務のほか、次のとおりです。

(1) 利用目的について

- ア 合格者の住所・氏名等の個人情報を入学手続に係わる業務で利用します。
- イ 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学後の学籍管理等の修学に係わる業務並びに健康診断等の保健管理に係わる業務で利用します。
- ウ 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用します。
- エ 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を1年次における授業料減免及び奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用します。
- オ 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を個人が特定できない形で統計処理等の付随する業務及び入学案内業務並びに本学における入学者選抜に関する調査研究で利用します。

(2) 第三者への個人情報の提供について

本学が取得した個人情報は、「個人情報保護法」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

ただし、次の場合必要最低限の情報を提供することがあります。

- ア 上記（1）ア～オの個人情報を取り扱う業務を、個人情報の適切な取り扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者に委託する場合
- イ 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うために、合格及び入学手続等に関する個人情報（氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限る）を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達する場合
- ウ 本学の教育後援会、同窓会に情報提供する場合（合格者のみ）

音 楽 研 究 科 の 専 攻 別 研 究 室

職名については平成29年5月1日現在

※印は平成31年3月末に退職予定の教員を示す。

専攻名	研 究 室 名	職 名	担 当 教 員 名
作曲・指揮 専攻	作 曲 研 究 室	准教授 准教授	岡 田 加津子 中 村 典 子 (着任予定)
	指 揮 研 究 室	教 授	下 野 竜 也
器 楽 専 攻	ピアノ研究室	教 授	阿 部 裕 之
		教 授	砂 原 悟
		教 授	上 野 真
		准教授	野 原 みどり
		講 師	田 村 響
	弦 楽 研 究 室	教 授	四 方 恭 子
		准教授	豊 嶋 泰 嗣 (着任予定)
	管・打楽研究室	教 授 教 授 准教授	山 本 毅 大 嶋 義 実 村 上 哲
声 楽 専 攻	声 楽 研 究 室	教 授 准教授 准教授 准教授 講 師	小 濱 妙 美 北 村 敏 則 日紫喜 恵 美 久 保 和 範 上 野 洋 子
音 楽 学 専 攻	音 楽 学 研 究 室	教 授 教 授 教 授 講 師	※柿 沼 敏 江 (西洋音楽史, 現代音楽論, サウンドアート論) 山 田 陽 一 (民族音楽学, 音響人類学, ポピュラー音楽論) 津 崎 実 (音楽心理学, 音響心理学, 音響環境論) 池 上 健一郎 (西洋音楽史)
日 本 音 楽 研 究 専 攻	日 本 音 楽 研 究 研 究 室	教 授 准教授	藤 田 隆 則 (民族音楽学) 田 鈇 智 志 (音楽史学) (着任予定)

“入学願書の記入上の注意”

専攻細目の欄には、器楽専攻者は楽器名も記入してください。

また、音楽学専攻の志願者は12ページを参考にして希望する専門分野を記入してください。

記入例

志 望	専 攻 分 野	専 攻 細 目	受 験 番 号	※
	作 曲 ・ 指 揮 専攻	作 曲		
志 望	専 攻 分 野	専 攻 細 目	受 験 番 号	※
	作 曲 ・ 指 揮 専攻	指 揮		
志 望	専 攻 分 野	専 攻 細 目	受 験 番 号	※
	器 楽 専攻	ピ ア ノ		
志 望	専 攻 分 野	専 攻 細 目	受 験 番 号	※
	器 楽 専攻	弦 楽（楽器名）		
志 望	専 攻 分 野	専 攻 細 目	受 験 番 号	※
	器 楽 専攻	管・打楽（楽器名）		
志 望	専 攻 分 野	専 攻 細 目	受 験 番 号	※
	声 楽 専攻	声 楽（声種）		
志 望	専 攻 分 野	専 攻 細 目	受 験 番 号	※
	音 楽 学 専攻	西 洋 音 楽 史		
志 望	専 攻 分 野	専 攻 細 目	受 験 番 号	※
	日本音楽研究 専攻	日 本 音 楽 研 究		

演奏曲目届出用紙〔器楽専攻用〕

楽器名		受験番号	※
-----	--	------	---

※は記入しないこと。

演 奏 曲 目		
作曲者名	曲 名	演奏時間
		約 分 秒
		約 分 秒
		約 分 秒
		約 分 秒
		約 分 秒
		約 分 秒
		約 分 秒
		約 分 秒
		約 分 秒
		約 分 秒
		約 分 秒
合計時間		約 分 秒
伴奏者の譜めくり	必 要	☐ 大学に依頼する
		☐ 個人で手配する
	☐ 伴奏者の譜めくりは不必要	
コントラバス	☐ 持参する ☐ しない	
使用する鍵盤打楽器名		

注 伴奏者の譜めくりが必要な場合は、大学に依頼するか、個人で手配するかのいずれかにチェックを入れてください。なお、個人で手配する場合には譜めくりを依頼する者の氏名を入学願書に記入してください。

演奏曲目届出用紙〔声楽専攻用〕

声 種		受験番号	※
-----	--	------	---

※は記入しないこと。

演 奏 曲 目		
作曲者名	曲名 (アリアの場合、オペラ、オラトリオの) 題名も記入すること	演奏時間
	(原題) ----- (邦題)	約 分 秒
	(原題) ----- (邦題)	約 分 秒
	(原題) ----- (邦題)	約 分 秒
	(原題) ----- (邦題)	約 分 秒
	(原題) ----- (邦題)	約 分 秒
	(原題) ----- (邦題)	約 分 秒
	(原題) ----- (邦題)	約 分 秒
	(原題) ----- (邦題)	約 分 秒
	(原題) ----- (邦題)	約 分 秒
	(原題) ----- (邦題)	約 分 秒
合計時間		約 分 秒
伴奏者の譜めくり	必 要	☐ 大学に依頼する
		☐ 個人で手配する
	☐ 伴奏者の譜めくりは不必要	

- 注1 伴奏者の譜めくりが必要な場合は、大学に依頼するか、個人で手配するかのいずれかにチェックを入れてください。なお、個人で手配する場合には譜めくりを依頼する者の氏名を入学願書に記入してください。
- 2 演奏曲目については、原題と邦題の両方を記入すること（ただし、日本歌曲の場合は邦題のみの記入でよい）。

受 付	※
--------	---

志 望	専 攻 分 野	専 攻 細 目		受 験 番 号	※	番
	専攻					
共通語学 選択受験科目 (いずれかを○で 囲むこと。)		英 語 ドイツ語 フランス語 イタリア語 日本語 (古典)	共通音楽史 選択受験科目 (音楽学, 日本音楽研究 専攻の志願者のみ, い ずれかを○で囲むこと。)	西洋音楽史 日本音楽史	専門語学 選択受験科目 (音楽学, 日本音楽研究 専攻の志願者のみ, い ずれかを○で囲むこと。)	英 語 ドイツ語 フランス語 日本語 (古典)
氏 名	フリガナ			生 年 月 日	昭和 平成 西暦	年 月 日生 平成30年 4 月 1 日現在満年齢 () 歳
	参照用 男・女					
出 願 資 格	(出身大学名)			卒 業 見 込 年 月	学部 学科 専攻 年 月 卒業・卒業見込	
	本学の研究留学生として6ヶ月以上在籍する者で、本科留学生としての受験を希望する場合はチェックを入れてください。 ☐					
現 住 所		〒 () 自宅 () - 携帯 () - ()				
伴奏者氏名 (器楽専攻のうち弦楽及び管・打楽の志願者と声楽 専攻の志願者は必ず記入すること。)						
譜めくり者氏名 (伴奏者の譜めくりが必要で、個人で手配する 場合には必ず記入すること。)						
(入学後希望する専攻分野において、主に研究したい課題についてより具体的に詳細に述べること。)						

以上のとおり相違ありません。

年 月 日

氏名

印

注1 ※欄は記入しないこと。
2 共通語学の選択科目の記入を忘れないこと。
3 共通語学の日本語 (古典) については、日本音楽研究専攻の志願者のみ選択することができる。
4 共通音楽史選択科目は音楽学専攻、日本音楽研究専攻の志願者のみ記入のこと。
5 専門語学選択科目は音楽学専攻、日本音楽研究専攻の志願者のみ記入のこと。

履 歴 書

年	月	学 歴・職 歴・業 績
(学 歴) 高等学校入学から記入のこと。 ただし、出願資格(3)(4)(5)(6)に該当する者は初等教育(小学校)、中等教育(中学校・高等学校)、高等教育(大学・大学院)において在籍したすべての学歴を記入すること。また、大学等で研究生等として在学歴がある場合は、その期間も記入すること。		
		入学
		卒業
		入学
		卒業
		入学
		卒業
		入学
		卒業
(職 歴)		
(主たる業績)		

以上のとおり相違ありません。

年 月 日

氏 名 ㊟

注 履歴書に事実と反する記載があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。

平成30年度 受験者写真票 京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程					
受験番号		※			
専攻分野		専攻細目			
専攻		専攻			
共通語学	英語	音楽学専攻		のみ記入	
	ドイツ語	日本音楽研究専攻			
	フランス語	共通音楽史	西洋音楽史	専門語学	英語
	イタリア語				ドイツ語
	日本語(古典)		日本音楽史		フランス語
					日本語(古典)
フリガナ					
氏名					
昭和 平成 西暦		年	月	日生	
男・女					
(4×3cm) 写真貼付欄 { 点線の枠内に正しく貼ること。 }					

※欄以外をもれなく記入又は○で囲むこと。

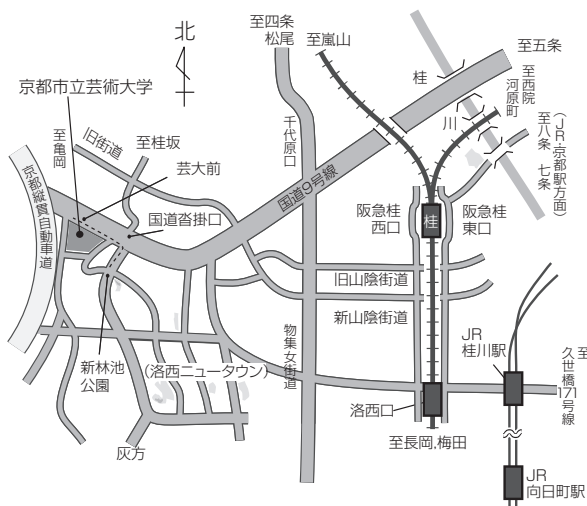
平成30年度 受験票 京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程					
受験番号		※			
専攻分野		専攻細目			
専攻		専攻			
共通語学	英語	音楽学専攻		のみ記入	
	ドイツ語	日本音楽研究専攻			
	フランス語	共通音楽史	西洋音楽史	専門語学	英語
	イタリア語				ドイツ語
	日本語(古典)		日本音楽史		フランス語
					日本語(古典)
フリガナ					
氏名					
昭和 平成 西暦		年	月	日生	
男・女					
(4×3cm) 写真貼付欄 { 点線の枠内に正しく貼ること。 }					

※欄以外をもれなく記入又は○で囲むこと。

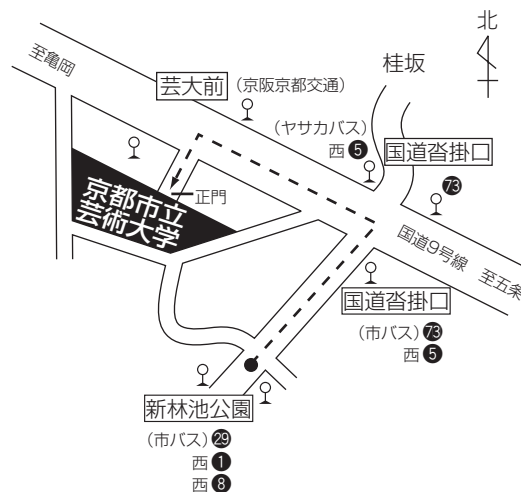
試験会場

京都市立芸術大学（京都市西京区大枝沓掛町13-6）

◆試験会場への略図



◆試験会場周辺略図



◆試験会場への交通機関

平成29年 5月1日現在

主要な駅	のりば	バスの種類	乗車時間	最寄りのバス停	バス停から大学までの所要時間
京都駅	C2 のりば	京阪京都交通バス (2・14・28A 系統)	約 45 分	芸大前	徒歩すぐ
	C5 のりば	市バス (73 系統)	約 45 分	国道沓掛口	徒歩約 10 分
阪急烏丸駅	四条烏丸 E のりば	市バス (29 系統)	約 50 分	新林池公園	徒歩約 20 分
阪急桂駅	桂駅東口 ② のりば	京阪京都交通バス (1・2・13・14・25・28A 系統)	約 20 分	芸大前	徒歩すぐ
	桂駅西口	市バス (西 1・西 8 系統)	西 1 は約 20 分 西 8 は約 25 分	新林池公園	徒歩約 20 分
		市バス (西 5 系統)	約 20 分	国道沓掛口	徒歩約 10 分
JR 桂川駅 (阪急洛西口駅経由)		京阪京都交通バス (11A 系統)	約 15 分	芸大前	徒歩すぐ
JR 向日町駅 (JR 桂川駅・阪急洛西口駅経由)		ヤサカバス (1 号系統)	約 25 分	国道沓掛口	徒歩約 10 分

【注意】

- 交通機関の利用については、路線及びダイヤの変更に留意するとともに、周辺の交通事情等を事前に把握し、試験当日、指定の時刻に遅れることのないよう注意してください。
- バスは京阪京都交通の利用が比較的便利です。

平成29年（2017年）7月
京都市立芸術大学 連携推進課 入試担当
〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町13-6
Tel 075-334-2238 Fax 075-334-2281
<http://www.kcua.ac.jp>

